



消防だより

有田川町消防本部
吉備金屋消防署
清水消防署
52-5950
52-5950
25-1243

火災……………3件
救助……………140件
（平成27年1月31日現在）

今年の出動等(累計)

春の火災予防運動

(3月1日～3月7日)

この運動は、住民の皆さまに、火災予防の意識を高めていただくことにより、火災の発生を防止し、火災から生命と貴重な財産を守ることを目的として、毎年実施しています。ご家庭において、コンロや暖房器具などの防火点検をしてみたいかがでしようか。



全国統一標語

もういいかい

火を消すまでは

まあだだよ

全国山火事予防運動

この時季は、空気が乾燥し、風の強い日が多いことから、山火事が発生しやすくなります。タバコの投げ捨て、たき火、火入

れなど火の取扱いに十分注意してください。

※3月8日に奥地内・二川地内で、

火災から森林を守るため、消防署と消防団が合同で、山火事を想定した訓練を実施します。



第3回防火の詩(入選作品発表)

優秀賞(前田利恵様)

「火の用心 つけて安心 住警器」

入選(田中茂代様)

「忘れない わたしが見守る生きてる火」

入選(石谷龍希様)

「消防車 来るまで出来る 初期消火」

入選(下田原文代様)

「ちよつとした 油断大敵 火の用心」

たくさんさんの御応募ありがとうございました。入選作品は、広報紙・ホームページに掲載するなど、幅広く火災予防活動に活用させていただきます。

熱性痙攣(おのせりけんをん)

熱性痙攣とは、子供が(主に6ヶ月から5歳くらいまで)熱の上がり際に多く、突然意識がなくなり、白目を向いて身体をそらせるように硬くしたり、手足をガクガク震わせる状態です。通常38度以上の発熱があり、痙攣のあと発熱に気付くこともあります。

熱性痙攣は、脳炎や髄膜炎など明らかに痙攣の原因となる病気がないものを言い、たいていは2～3分で治まり、発作が止まると睡眠に落ちています。

はじめて見た時は、慌てますが、落ち着いて次の事を実施してください。
①痙攣が何分間続いたのか、痙攣の様子はどうかだったか、あとで詳しく伝えられるようによくみておきましょう。

②衣服を緩め、頭部を胴体よりやや低くし、側臥位にして顔を横に向け、吐いた物が気道に入らないようにする。

③痙攣が治まったら、熱を計りましょう。それから、慌てずかかりつけの病院で診察を受けましょう。ほとんどの熱性痙攣は後遺症を残すことはありませんが、次のような

痙攣の時は、救急車を呼ぶなどして急いで病院で受診しましょう。

- ①痙攣が15分以上続く。
- ②痙攣が治まった後も長い間意識が戻らない。
- ③24時間以内に2回以上痙攣を繰り返す。
- ④生後6ヶ月以下や6歳以上で痙攣を起こした場合。
- ⑤痙攣の様子が左右非対称である。

寄付金

平成26年12月に、救急業務に活かしていただきたいと、町内に在住の方(匿名)から金五萬円の寄付をいただきました。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



あなたの命と財産を守るため 付いていますか? 住宅用火災警報器

「すべての寝室と階段(2階以上の階に寝室がある場合)に設置が義務付けられています。」

